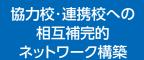
2. データサイエンス・AI全学教育機構の概要

2.1.目的

東京工業大学(以下、本学)では、2019年度から開始した「データサイエンス・AI大学院全学教育」による大学院修士課程・博士後期 課程学生向けの教育を皮切りに、2020年度からは学士課程を対象とした科目も設置し、データサイエンス・AI全学教育プログラムを 行ってきました。データサイエンス・AI全学教育機構(以下、本機構)は、(1)学士課程から大学院まで一貫した全学教育プログラムの 拡大・推進、(2)社会的課題解決能力を身につけるための企業連携、(3)国内外の他大学への授業配信などの連携、の3つの柱を中心 とし、2022年12月1日に設置されました。本機構は、既に存在するデータサイエンス・AI全学教育プログラムをさらに発展させ、 トップ人材を育成するためのプログラムを確立し、高度なデータサイエンスや人工知能(以下、DS:AI)教育を国内外の他大学へ展開 することで、専門分野の境界を越えて課題解決・教育指導を行う「共創型エキスパート」人材を育成することを目的としています。



国内外の

大学

相互受講

四大学連合等との 相互乗り入れ

授業配信

リテラシー重視の 大学へ協力

国際連携

英語授業による 国際化

データサイエンス·AI全学教育機構

全学教育部門 社会連携部門 情報基盤·広報部門

企画調査部門 機構事務局

6学院 理学、工学、 物質、情報、生命、 環境·社会

3卓越教育院 物質·情報、 超スマート社会 エネルギー・情報

データサイエンス·AI 全学教育

エキスパートレベル

先鋭的な人材を発掘・伸ばす環境整備 若手の自由な研究と海外挑戦の機会拡充

応用基礎レベル

AI応用力の習得、認定制度の活用

リテラシーレベル

学修内容の強化、標準カリキュラムの開発

データサイエンス·AI全学教育機構の概要

産学連携を通じた 共同教育と基盤強化

共同教育による 人材育成

社会的課題 解決PBL インターンシップ

コンソーシアム による基盤強化

高度情報理工学 人材育成事業 (AI基金)

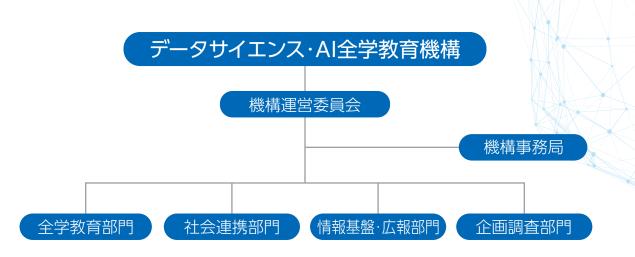


連携企業



2.2. 実施体制

本学の6学院および3卓越教育院、複合系コース等から選出された委員から構成されるデータサイエンス・AI全学教育機構運営委員 会のもとに、全学教育部門、社会連携部門、情報基盤・広報部門、企画調査部門の4部門および機構事務局を設置し、 その相互の連携のもとで全学教育プログラム等を運営し、各理工系分野に普遍的に求められる問題解決能力の基礎的素養の習得を めざします。



データサイエンス·AI全学教育機構の構成

プレスリリース





文教速報 令和5年1月18日



データサイエンス・AI全学教育機構は、これまでの東京工業大学におけるデータサイエ ンス・AI教育分野の経験と実績を基に、(1) 字土課程から大学院まで一貫した全学教育ブ ログラムの拡大・推進、(2) 社会的課題解決能力を身につけるための企業連携、(3) 国内 外の他大学への授業配信などの連携、の3つの柱を中心としています。データサイエンス

や人工知能(以下、DS・AI)の技能をもって多様な専門分野の垣根を越えて、領域機断的 に社会的課題を解決できる「共創型エキスパート」人材を広く育成していくことを狙いと

ク目のデジタル情報化社会において、DS・Alの果たす役割が急速に入きくなっており、 社会生活、産業、研究開発などのあらゆる分野において基盤となり始めています。これに 対し東京工業大学では、理工系総合大学である特長を活かし、専門分野によらず、将来的 にDS・Alを解使して問題解決ができる能力を身につけた「共創型エキスパート」人材を育 成することを目的として、2019年度から大学院生を対象としたデータサイエンス・AI大学 院全学教育を展開してきました。この教育では、DS・AI技術の理論的・学術的な教育だけ にとどまらず、35社以上もの企業が参加する国内最大規模の企業連携コンソーシアムを確 立し、社会的課題解決能力の養成を組み込んだ多様な授業科目が展開されています。また、東京工業大学では大学院専門科目を英語で開講しており、データサイエンス・Al大学 院全学教育の一部科目をThailand Advanced Institute of Science and Technology (TAIST、タイ王国) へ配信しています。

データサイエンス・AI全学教育機構 設置

